

第38回粘土科学討論会報告

第38回粘土科学討論会は1994年9月28日から9月30日の3日間岩手大学人文社会学部で井上克弘会員を中心とした関係各位の協力のもとに開催された。討論会における研究発表は、口頭発表45件、ポスター発表31件、合計76件であった。それらの抄録は、本号に掲載されている。また、特別講演は2題で、一つはA. Wiewiora (ポーランド科学アカデミー地質科学研究所教授) による“Modern crystallochemical and structural classification of layer silicates and their polytypes”ともう一つは会長・林久人秋田大学教授による「ジャロサイトの鉱物化学と酸性硫酸塩土壌」であった。シンポジウムは「シミュレーションの役割」というテーマで5名の研究者による基調講演がなされ(本号に特集)、活発な討論が行なわれた。今回の参加登録者は145名であった。

また、本年度の学会総会において日本粘土学会賞が山中昭司会員に、日本粘土学会功績賞が柿谷悟会員に、奨励賞は、山崎淳司会員に、技術賞は勝光山礫業所(矢野岳会員)の方々に記念品とともに授与された。懇親会は、船越昭治・岩手大学学長を迎え盛大に行なわれた。

討論会会期の3日間、非常に内容のある討論会を持てた。これは、特別講演、シンポジウムの講演の先生方をはじめとする参加者の方々の熱意によるものと感謝する。開催期間が他の全国大会と重なり宿泊などで混乱が心配されたが井上実行委員長の配慮で無事のり越えることができた。

また、討論会の前日(9月27日)に、旧松尾鉱山酸性処理施設と焼走溶岩流の見学会が行なわれた。この見学会を行なうにあたり関係各位に大変お世話になった。この場をかりて、御礼を申し上げる。

また、本討論会の開催にあたり多大な援助をいただいた岩手大学農学部後援会の各位に心より御礼申し上げます。(渡辺 隆)



林前会長の挨拶

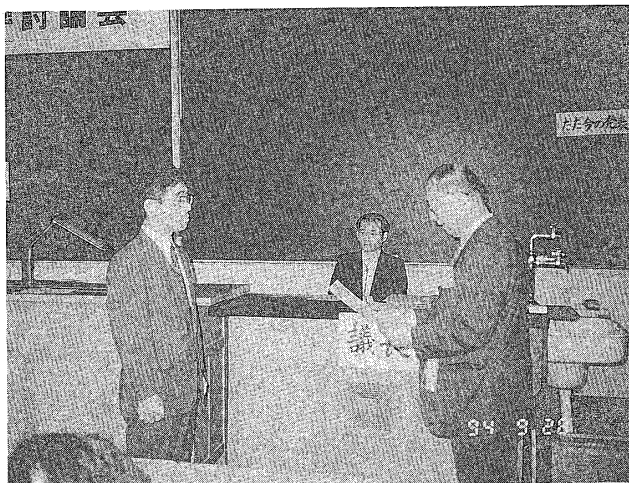


青柳新会長の挨拶



Wiewiora 教授の特別講演

林 久人会長より表彰状授与（総会会場にて）



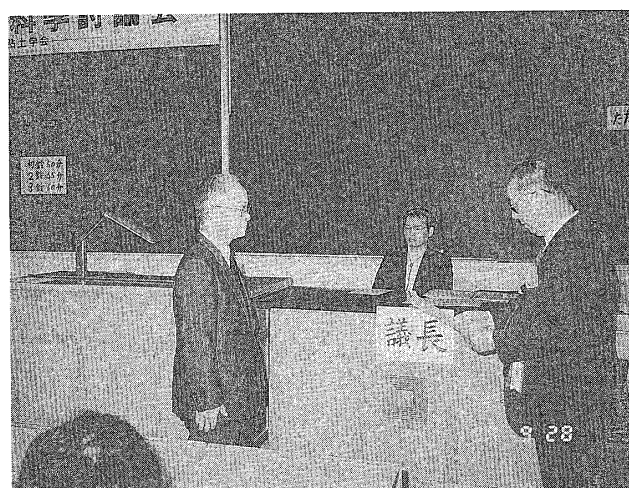
山中会員，学会賞



柿谷会員，功績賞



山崎会員，奨励賞



勝光山鉱業所 矢野会員，技術賞